

正ちゃん

宮浦指導部 高 椋 竜 生

正ちゃん

あなたは殺された。
あなたを殺したものは、三井鉱山と佐藤自民党政府だ。

合理化は、人間のいのちを虫ケラのようにとりあげ、コキアリを踏みつぶすように容赦なく殺す。

保安の抗議をすれば解雇をつきつけ、処分をもって弾圧する。不法地帯化した炭鉱。

正ちゃんを死に追いやった合理化は、いまはじいじの憤りを抱え、力を

百姓奉公にも出た正ちゃんだった

正ちゃん、大東亜戦争中大牟田がB25爆撃機により第二回目の焼夷弾攻撃をうけた際、隣り合わせに住んでいた壁をぶち抜いて、五十キロ油断焼夷弾が落下し、裂けて一面火の海となったとき、力を

不当弾圧

四山指導部 出雲善四郎

「保安を恐れ」「命を守れ」との底から再三再三四会社へ要求すれば、会社は聞き入れず。怒りに燃えて鉱長室へすわって。

政府・三井資本・官憲一体となつた善共は、なるなるけるの暴行をくわえて自衛させ、二十一名逮捕した。

安採につながる不当弾圧はあきれるばかり。

「保安を恐れ」「命を守れ」と声をかして要求したのがなせ悪い。

要求も聞き、逆に逮捕。劣働者の命をゆびの同様に扱う三井資本が反省するまで

優秀な警察犬とは？

信 山 松



昭和三十八年十一月九日午後三時十五分、三川鉱坑口から二階、天に沖する炭じん爆発の火柱は噴き上がり、四百五十八名のなかまが殺され、八百数十名にも及る「CO中毒患者」がつけられた。

その中の一に正ちゃんがある。

その中に正ちゃん

あの日から半年はかりたって、ひょっこり一通の手紙が大牟田市労災療養所から届いた。開けてみて、はじめて正ちゃんが俳句をつくら始めたことを知ってうれしかった。

句は幼稚なもので、句になつていないものが多く、川柳とも俳句ともつかぬものばかりだった。でも一つ一つ手を入れていくことが実在したのを感じた。その一つに、こんな句がある。

心から手と千羽鶴折りたのこの句は、ひたすらに癒されることを念じてつづいて、千羽鶴を折りつづけてる作者の姿と心がよくにみ出でて、つい涙をさそう。座五を「折りこめ」と添削しておいた。

いよいよ本格的な句作者へ

その後をきいて、月に三回、句を送るようになった。句もあつた。月が経つにつれ、見違えるくらゐ伸びていった。

足立ちてキヤンチボールで訓練す回復期をうたった句を楽しみ日々、日々として、回復訓練にこた

短歌

三川指導部 中尾種夫



秋日和リハビリティの足ならしリハビリティ終えてつじの挿木かな
ピンポンの汗あなごりて春の風
それからは本格的な、季題を生命とした、俳句をつくるようになった。

このほか休温計をはめわすリハビリティの生活がよくうたへて、手にとるようになった。活写されている。

外泊のバス待つ人に春の雨きつと正ちゃんも外泊のバスを待っていたらどうでしょう。

家で石路の花吹く帰省かな
冬の日の子どもと遊びリハビリティ
外泊の子とも遊び独楽のし外泊の夜みかくれかくれんぼ一倍の子とも思ひだした。

CO闘争はこれからだよ正ちゃん
また、毎月送ってくる句稿のはしは、忘れずきつきのようになつたが書き足してあつた。

「CO闘争はこれからだよ正ちゃん」
また、毎月送ってくる句稿のはしは、忘れずきつきのようになつたが書き足してあつた。

「CO闘争はこれからだよ正ちゃん」
また、毎月送ってくる句稿のはしは、忘れずきつきのようになつたが書き足してあつた。

「CO闘争はこれからだよ正ちゃん」
また、毎月送ってくる句稿のはしは、忘れずきつきのようになつたが書き足してあつた。

「CO闘争はこれからだよ正ちゃん」
また、毎月送ってくる句稿のはしは、忘れずきつきのようになつたが書き足してあつた。

詩熱

シヨベルが

動かなくなつた

宮浦指導部 平田光男

探炭シヨベルは
俺の体をすっぽり
抱き込む程大きい

作業始めた
一口言葉を出した
「八名の不当解雇処分が
会社より申し入れされた」

探炭シヨベルは
俺の体をすっぽり
抱き込む程大きい

探炭シヨベルは
俺の体をすっぽり
抱き込む程大きい

探炭シヨベルは
俺の体をすっぽり
抱き込む程大きい



探炭シヨベルは
俺の体をすっぽり
抱き込む程大きい

探炭シヨベルは
俺の体をすっぽり
抱き込む程大きい

探炭シヨベルは
俺の体をすっぽり
抱き込む程大きい

探炭シヨベルは
俺の体をすっぽり
抱き込む程大きい

探炭シヨベルは
俺の体をすっぽり
抱き込む程大きい

探炭シヨベルは
俺の体をすっぽり
抱き込む程大きい

探炭シヨベルは
俺の体をすっぽり
抱き込む程大きい

探炭シヨベルは
俺の体をすっぽり
抱き込む程大きい

探炭シヨベルは
俺の体をすっぽり
抱き込む程大きい

探炭シヨベルは
俺の体をすっぽり
抱き込む程大きい

探炭シヨベルは
俺の体をすっぽり
抱き込む程大きい

探炭シヨベルは
俺の体をすっぽり
抱き込む程大きい

探炭シヨベルは
俺の体をすっぽり
抱き込む程大きい

探炭シヨベルは
俺の体をすっぽり
抱き込む程大きい